

価値創造ストーリー ①



海外展開

日暮 淳

キューピー株式会社
執行役員 海外統括



海外の各拠点における事業活動と周辺エリアへの輸出を通して、世界の食と健康に貢献するグループをめざします。マヨネーズやドレッシングの市場拡大を進め、現在10カ国に14の拠点をもち、62の国と地域のお客様にキューピーブランド商品をお届けしています。これからも新たな販路の開拓を積極的に進めていきます。今後は、ESG経営の確立に向けて、サステナビリティの推進、ガバナンスの強化に資源を投下し、「KEWPIE」「丘比※」のブランド価値を高めます。「日本のキューピー」から「世界のKEWPIE」へとブランド認知を拡大し、キューピーグループのグローバルな展開を牽引していきます。

※キューピーの中国語表記

海外拠点と世界戦略商品

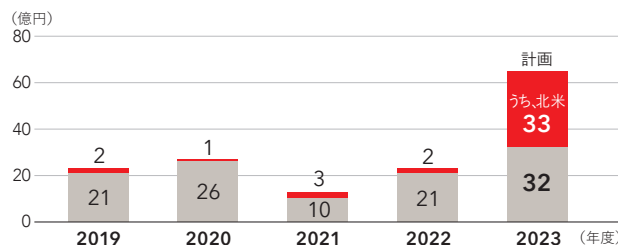
「KEWPIE・丘比ブランドのマヨネーズと深煎りごまドレッシングを世界の商品に」という想いから、それぞれの国の食材や食文化に合わせた提案を進め、一層の市場浸透を図っていきます。



資源投下による成長の加速

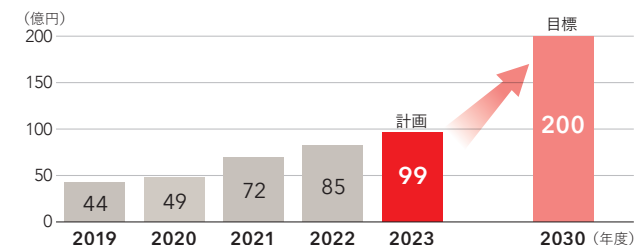
海外への資源投下をこれまで以上に積極的に行い、成長を加速させます。投資による生産設備増強に加え、ブランド拡大、ガバナンスの強化を進めます。売上高は年率10%以上の伸長を実現するとともに、2030年度までに事業利益を現在の約2倍の200億円にすることをめざします。

海外設備投資額



※2020年7月に株式譲渡した北米タマゴ事業を除いて算出しています。

海外事業利益額の推移と展望



価値創造ストーリー ①



海外展開

米国テネシー州に工場を新設



工場完成イメージ

1982年から事業展開している北米では、2014年頃からKEWPIEブランドのマヨネーズ・ドレッシングの拡売に注力してきました。近年、新たな価値を求めるレストランシェフや消費者の間で、キューピー商品の味や品質への支持が高まっています。高まる需要と成長性を視野に入れ、米国における2カ所目の生産拠点となるテネシー工場を新設します。既存のカリフォルニア工場と合わせて、2拠点体制を構築することで生産能力を増強し、世界最大のサラダ調味料市場である北米での事業展開を加速します。

新工場は、従来比で生産性を2倍、環境負荷は半減することをめざし、サステナビリティに配慮した生産を実践します。『3つのE』※をコンセプトに定め、サステナブルとコストを両立させるモノづくりを実現します。

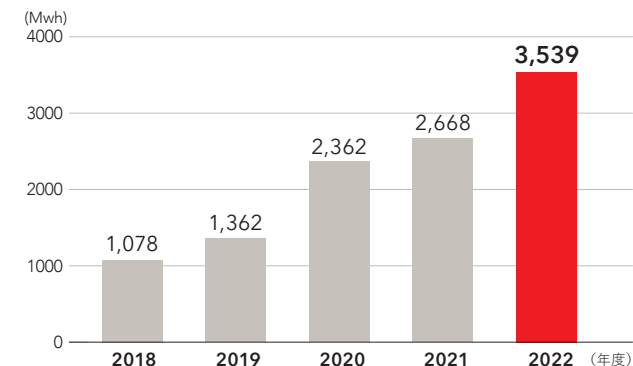
- ※『3つのE』
- ①Employee-Friendly
従業員が働きやすい環境の実現
 - ②Environmental-Friendly
リサイクルの推進やCO₂排出削減などを実現
 - ③Economic-Friendly
容器の内製化などを実施し、生産性向上を実現

海外でのサステナビリティの取り組み

当社グループは、気候変動の原因となるCO₂排出削減に向けた省エネルギーへの取り組みや、再生可能エネルギーへの転換を、グローバルな視点で進めています。

海外での太陽光発電の設置は、2018年のキューピータイランドから始まり、キューピーベトナム、北京丘比、キューピーマレーシアへと拡大しています。4事業所合計で年間約2,800トンのCO₂排出量が削減できる見通しです。

キューピーグループ海外拠点の 再生可能エネルギー量



Sustainability Project

海外でのユニークな取り組み

キューピータイランドでは、バイオマス燃料^{※1}であるヤシ殻をボイラーの燃料として使用しています。これまで廃棄していた燃焼工程で発生する「灰」を固めてブロックへ加工し工場内の補修に再利用するなど、アップサイクル^{※2}を実現し、廃棄物の削減やCO₂排出量削減に貢献しています。また、自治体と連動し、このブロックを周辺地域の方々の住宅の建材などにも活用しています。

- ※1 バイオマス燃料：動植物から生まれた再生可能な有機性資源からつくる燃料
 ※2 アップサイクル：資源や廃棄物を回収して再資源化や再生利用し、創造的価値やアイデアを付与させてより価値ある新たな製品に変換すること

キューピーグループ オフィシャルブログ
<https://www.kewpie.com/blog/2022/12/2811/>



会社名：
KEWPIE (THAILAND) CO., LTD.
 環境課：Cake (左)、Earn (右)
 CSR課：Noon (中)

